

## 南海トラフ地震 地域「防災・減災」シンポジウム 2019

～「情報」と「行動」が命を救う～

名古屋市・和歌山市・徳島市で開催

『南海トラフ地震地域「防災・減災」シンポジウム 2019 ～「情報」と「行動」が命を救う～』が、2019年3月4日名古屋市、3月10日和歌山市、3月12日徳島市で開催されました。気象庁、地元気象台、（一財）気象業務支援センターとともに、緊急地震速報利用者協議会の主催で開催されました。

南海トラフ地震から命を守るために、緊急地震速報、津波警報、“南海トラフ地震に関連する情報”や長周期地震動に関する情報を利用して、命を守る行動を自ら考え実行できるようになることを目標に、シンポジウムが開催されました。このため昨年度は、南海トラフ地震により大きな影響が想定される地域の中から、3県で開催されました。

3会場合計でほぼ満員の約800名の方の参加がありました。基調講演では福和会長や青木気象庁地震予知情報課長から南海トラフ沿いで発生する地震とはどのようなものか、気象庁が発表する“南海トラフ地震に関連する情報”とはどのようなものか等、分かり易く説明していただきました。パネルディスカッションでは各地域の防災担当者や専門家らにより、南海トラフ地震で異常な現象が観測された場合の対応の検討状況や課題などについて紹介があり、活発な議論をいただきました。

各シンポジウムの様子は地元のテレビや新聞でも多数報道され、多くの方にとって南海トラフ地震から命を守るためにどのように準備・行動したらいいかを考えていただける良い機会となったのではないかと考えています。

緊急地震速報利用者協議会としても、今後気象庁が進める南海トラフ地震に関する普及啓発活動と連携し、全国各地域での防災・減災に貢献できるよう積極的に取り組んでいきます。

なお、講演会場では下記会員のご協力を頂き、緊急地震速報の解説とともに、緊急地震速報に関する機器、システムの展示・紹介をして頂きました。ご協力に感謝いたします。

協力会員：(株)ANET様/ (株)南海電設様/ (株)明星電気様

©緊急地震速報利用者協議会事務局

【各会場の風景】

